お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87

（受付時間）9：00~19：00（月~土）・9：00~17：30（日・祝日）
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120−3121−11
FAX 0120−3121−34

（受付時間）9：00~17：30（月~土）・9：00~17：00（日・祝日）
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

出張修理のご用命はインターネットからもお申込みいただけます。
URL http://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/toiawase.html または 日立家電修理 検索
「お問い合わせ」ページの 出張修理の Web 受付 ボタンより入力画面にお進みください。
（注）対象製品をご確認のうえお申込みください。

- 「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

この J-Moss グリーンマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率が JIS C 0950:2008 による基準値以下であることを示しています。（規定の除外項目を除く）

詳しい情報は、当社のホームページでご覧いただけます。http://www.hitachi-ap.co.jp/company/environment/kankyo/jmoss/

愛情点検

長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

こんな症状はありませんか？	ご使用中止
●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●電源コードに深い傷や変形がある。 ●焦げ臭いにおいがする。 ●冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。 ●ピリピリと電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫または冷凍庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入してください。
サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入年月日 年 月 日 **型式**

購入店名 **電話** （ ）

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12 電話（03）3502-2111

R-S3700EV・R-S3700EVL
R-K370EV・R-K370EVL Ⓑ

日立 インバーター 冷蔵庫

（R-S3700EV型）

HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書別添付

日立冷凍冷蔵庫 家庭用

型式

アール エス イー ブイ
R-S3700EV
アール エス イー ブイ エル
R-S3700EVL
アール ケー イー ブイ
R-K370EV
アール ケー イー ブイ エル
R-K370EVL

このたびは日立冷凍冷蔵庫をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この冷凍冷蔵庫は家庭用です。業務用や食品収納以外の目的にはご使用にならないでください。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」→P.4~5 をお読みいただき、正しくお使いください。

日本国内家庭用
Use only in Japan

特長

1 酸化を抑えて、フレッシュカセットでおいしさを守る
フレッシュカセット付き 真空チルドルーム

独自の真空保存で食品の酸化を抑えて鮮度と栄養素を守る「真空チルド」にフレッシュカセットを採用。辛み成分を放出して酵素の働きを抑え、魚の食感を守ります。

※真空とは大気圧よりも圧力が低い空間を指します。真空チルドルーム内は約0.8気圧で大気圧よりも低いので、当社では真空と呼んでいます。

2 インバータ制御で
もっと省エネ

インバータ制御により、ドア開閉が多いときにはコンプレッサーの回転数を上げて庫内を素早く冷やし、ドア開閉が少ないときにはコンプレッサーの回転数を下げて省エネ運転を行い、消費電力量を低減。また、さらに節電したいときには、「節電」モードもご使用いただけます。

3 庫内のさまざまなにおいを脱臭する
トリプルパワー脱臭

3種類の脱臭素材の組み合わせによって、硫黄系・チッ素系・アルデヒド系・酸系の4大臭気をふくむ庫内のさまざまなにおいを脱臭します。また、フィルターに捕集した細菌の活動を抑制します。

●試験機関：一般財団法人 ボーケン品質評価機構●試験方法：フィルム密着法（JIS Z 2801）●処理部品名：フィルター●除菌の方法：酸化触媒をフィルターに塗布●対象：フィルターに捕集した細菌●試験の結果：24時間後に99%の除菌効果。フィルター単体での性能です。庫内全体や食品に効果が及ぶものではありません。

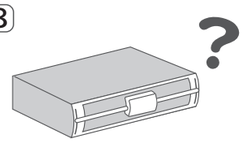
よくあるお問い合わせ

氷が**できない**ときは
→P.26

表示などが**点滅**しているときは
→P.26

冷蔵庫が**冷えない**ときは
→P.27

霜や**露**が**つく**ときは
→P.27

真空チルドが**気になる**ときは
→P.28


音が**気になる**ときは
→P.29

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意 …… 4
確認する …… 6
各室のなまえと収納食品 …… 6
付属品 …… 6
操作パネルのはたらき …… 7
準備する …… 8
ご使用になる前の準備 …… 8
移動・運搬の準備（引っ越しをする） …… 9

使いかた

冷蔵室 …… 10
冷蔵室の温度を調節する …… 10
棚やポケットの高さをかえる …… 11
卵ケースを使う …… 11
真空チルドルーム …… 12
真空チルドケースを開け閉めする …… 12
真空チルドルームの設定を変更する …… 13
野菜室 …… 14
野菜室を使う …… 14
冷凍室 …… 15
冷凍室を使う …… 15
貯氷コーナーの氷の収納量・製氷時間 … 15
冷凍室の温度を調節する …… 16
食品を急いで凍らせる（急速冷凍） …… 16
氷をつくる（製氷） …… 17
急いで氷をつくる（急速冷凍） …… 17
氷をつくらない（製氷停止） …… 17
いろいろな機能 …… 18
「節電」モードの設定 …… 18
ドアアラームと操作音の音量調整 …… 18
操作部ロック …… 18
温度微調節（冷蔵室・冷凍室） …… 19
給水お知らせサイン …… 19
eco運転サイン …… 19
ドアアラーム …… 19

お手入れ

お手入れ〈定期的な点検〉 …… 20
電源プラグ／冷蔵庫背面・床／ドア表面 … 20
各棚・ポケット・ケース／ドアパッキング／汁受け部 … 20
真空チルドルーム …… 21
製氷おそうじ …… 22
給水タンク …… 23
部品のはずしかた・取り付けかた …… 24
高さかわるん棚・うすいん棚（ガラス棚） … 24
ドアポケット …… 24
たためるん棚 …… 24
真空チルドケース …… 24
スライド小物ケース・野菜ケース（野菜室） … 25
スライドケース・下段ケース（冷凍室） …… 25
引き出しドアのはずしかた・取り付けかた（野菜室・冷凍室） … 25

お困りのときは・アフターサービス

お困りのときは …… 26
使いはじめ …… 26
操作部 …… 26
自動製氷がうまくいかない …… 26
操作部の「eco」表示などが点滅している … 26
冷えない …… 27
霜や露がつく …… 27
冷え過ぎる …… 27
ドアの傾きが気になる …… 27
真空チルドが気になる …… 28
冷蔵庫が熱くなる …… 28
においが気になる …… 28
音が気になる …… 29
その他 …… 29
仕様 …… 30
消費電力量 …… 30
冷凍室の性能 …… 30
収納できる食品の重さ …… 30
別売部品 …… 31
保証とアフターサービス …… 31
保証書（別添） …… 31
補修用性能部品の保有期間 …… 31
修理を依頼されるときは（出張修理） …… 31
お客様ご相談窓口 …… 32

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⃠	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警告　火災や感電、けがなどを防ぐために

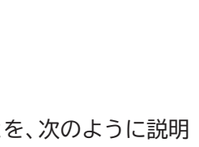
設置するとき

⃠ ●水のかかるところには設置しない。
（絶縁が悪くなり、漏電し感電の原因になります）

❗ ●湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース（接地）・漏電遮断器を取り付ける。➔P.9
（販売店にご相談ください）
●地震に備えて転倒防止処置をする。➔P.8
●冷蔵庫の周囲はすき間をあけて設置する。➔P.8
（冷媒が漏れると滞留し、発火・爆発のおそれがあります）

電源や電源プラグ・コードは

⃠ ●電源プラグを冷蔵庫の背面で押し付けない。
●電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、はさみ込んだり、加工したりしない。
●ぬれた手で抜き差ししない。
●コードを持って抜かない。
●タコ足配線、延長コードは使用しない。
●コードや電源、プラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

❗ 

●定格15A交流100Vのコンセントを単独で使う。
●コードを下向きに、電源プラグは根元まで確実に差し込む。
●お手入れの際は抜く。➔P.20
●長期間使用しないときは抜く。
●定期的に電源プラグに付いたほこりを乾いた布でふく。➔P.20

収納できないもの

⃠ ●薬品や学術試料を入れない。（厳密な温度管理が必要なものは保存できません）
●引火しやすいものを入れない。（引火・爆発する危険があります）

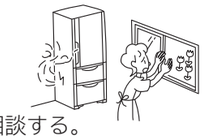
ふだん ご使用のとき

⃠ ●本体や庫内に水をかけない。
●冷蔵庫の上にもの、特に水を入れた容器を置かない。
●可燃性スプレーを近くで使わない。
●自動製氷機の機械部には手を入れない。
●ドアやドアの内側の部品、庫内の部品にはぶら下がらない、乗らない。
●庫内では電気製品を使用しない。
●分解・修理・改造は絶対にしない。
●ガラス製のドアに衝撃を加えない。（R-S3700EV・R-S3700EVL型のみ）
●本体にネジ等の鋭利なもので傷をつけない。（冷媒が漏れると発火・爆発の原因になります）

⚠ 警告　火災や感電、けがなどを防ぐために

もしものとき

❗ ●異常や故障のときは、電源プラグを抜き運転を中止して、すぐに販売店へ点検・修理を依頼してください。
《異常・故障の例》
・電源コード、プラグが異常に熱い　・電源コードに深い傷や変形がある
・焦げくさいにおいがする　・ピリピリと電気を感じる



●可燃性ガスが漏れているときは、冷蔵庫やコンセントに触れず窓を開け換気する。
●冷却回路（側面や天面）を傷つけたときは換気して電気製品の使用を避け販売店に相談する。

廃棄するとき

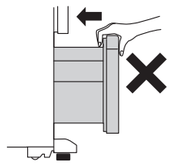
❗ ●リサイクルや保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合は、ドアパッキングをはずす。
●廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す。
（放置して冷媒が漏れると、引火・爆発のおそれがあります）

⚠ 注意　けがや事故などのおそれ

食品を収納するとき

⃠ ●ガラス棚に強い衝撃を加えない。（ガラス棚が割れてけがをするおそれがあります）
●ガラス棚のガラス面を加熱したり、熱いものを置いたりしない。
●ドアポケットの底面まで入らないボトル類は入れない。（無理に入れない）
●食品は棚より前に出さない。
●におったり変色した食品は食べない。（腐敗により病気の原因になることがあります）
●冷凍室にビン類を入れない。
●冷凍室の食品や容器（特に金属製）をぬれた手で触らない。

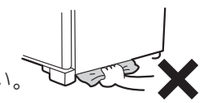
ドアを開け閉めするとき



⃠ ●冷蔵室ドアや引き出しドアの上面・下面・側面を持って閉めない。
●最下段の引き出しドアに足を近づけすぎない。
●他の人が触っているときは開けない。
●ドアを強く開け閉めしない。（食品が落下する恐れがあります）

⚠ ●長時間ドアにすき間ができたままになっていると、床に結露水や霜取りの水が滴下することがあります。ドアはすき間ができないように確実に閉めてください。

お手入れのとき



⃠ ●冷蔵庫底面に手や足を入れない。
●自動製氷機の機械部に手を入れない。

⚠ ●ガラス棚は重いため取り付け、取りはずしには十分注意してください。

移動・運搬・設置のとき

⃠ ●横積み輸送はしない。
●取っ手をクレーン等で吊らない。
●ドアの取っ手を運搬時に使用しない。
●傷つきやすい床の上では冷蔵庫下部のキャスター（車輪）を使わない。
床に傷をつける原因になります。
移動するときは保護用の板などを敷いてください。
●冷蔵庫背面・側面などぶつけたりしない。

❗ ●食品や氷を取り出し、給水タンクの水をすてる。
●床材を傷つけたり、冷蔵庫内部に残っている水がこぼれたりすることを防ぐ保護用のシート・布などを敷く。

●ドアが開かないようテープなどで固定する。また、電源プラグ・コードは、たれ下がらないようにテープで固定する。
●運搬用取っ手を持って2～4人以上で運ぶ。
●床が丈夫で水平なところに調節脚でしっかり固定する。

確認する

各室のなまえと収納食品

冷蔵室 ➔P.10
約1℃～6℃

冷蔵食品

ドアポケットは少し温度が高めになります。

真空チルドルーム ➔P.12
約1℃

肉・魚介類など生鮮食品
真空保存で、鮮度低下を抑えます。

野菜室 ➔P.14
約3℃～7℃

野菜・果物・飲料

(R-S3700EV型)

冷凍室 ➔P.15
約−20℃～−18℃

冷凍食品・アイスクリーム・乾物

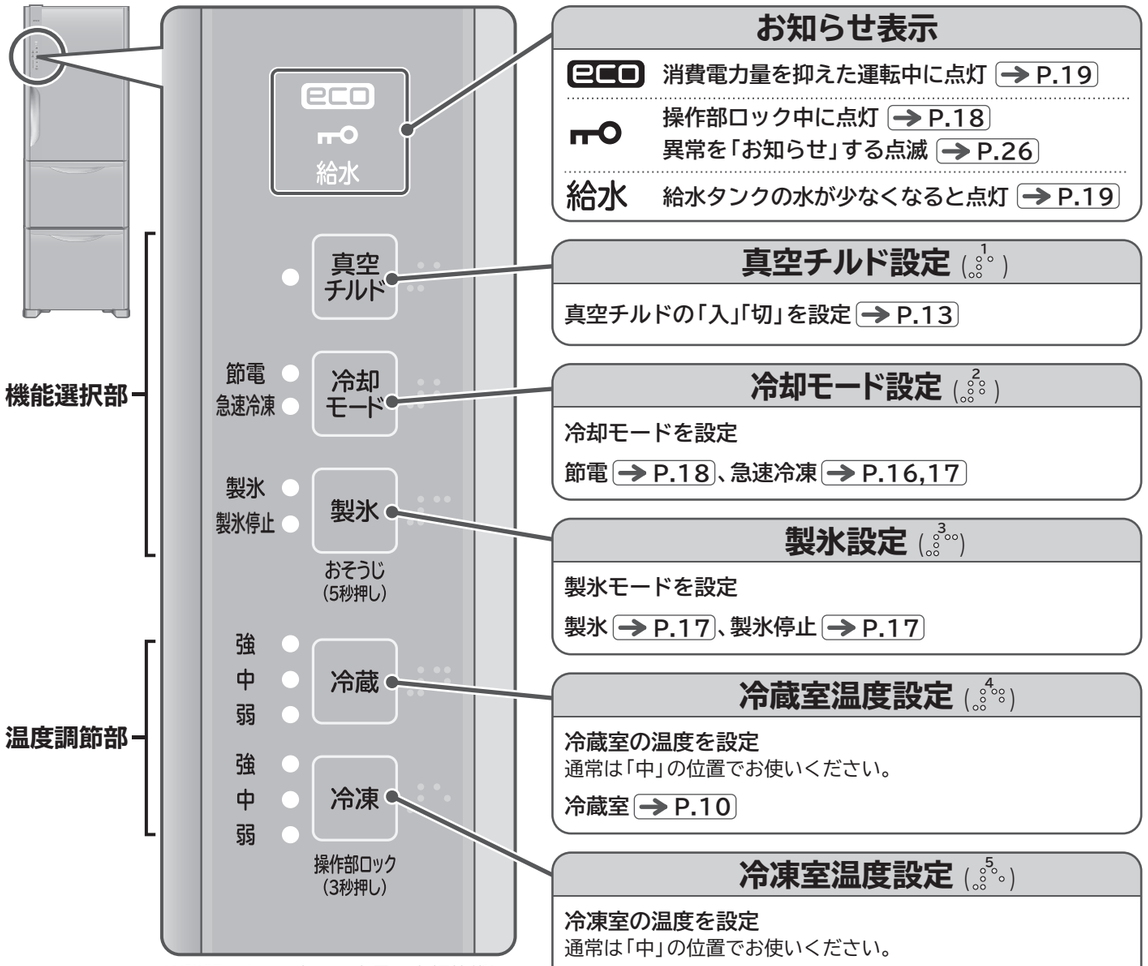
※温度は周囲温度30℃、食品を入れずにドアを閉め温度が安定したときの目安値です。
●食品はすき間をあけて収納してください。
●においの強い食品はラップをすることをおすすめします。

付属品

保証書	修理の際にご提示ください。

操作パネルのはたらき

ボタンを押して設定を切り替えてお使いください。



※説明のため、全ての表示を点灯状態にしています。

お知らせ表示

eco 消費電力量を抑えた運転中に点灯 ➔P.19

操作部ロック中に点灯 ➔P.18
異常を「お知らせ」する点滅 ➔P.26

給水 給水タンクの水が少なくなると点灯 ➔P.19

真空チルド設定 (1)

真空チルドの「入」「切」を設定 ➔P.13

冷却モード設定 (2)

冷却モードを設定
節電 ➔P.18、急速冷凍 ➔P.16,17

製氷設定 (3)

製氷モードを設定
製氷 ➔P.17、製氷停止 ➔P.17

冷蔵室温度設定 (4)

冷蔵室の温度を設定
通常は「中」の位置でお使いください。
冷蔵室 ➔P.10

冷凍室温度設定 (5)

冷凍室の温度を設定
通常は「中」の位置でお使いください。
冷凍室 ➔P.16

お知らせ

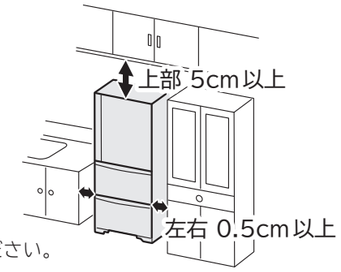
●設定は全てのドアを閉じた状態で行ってください。冷蔵室ドア開放中または操作部ランプ点滅中はボタンを押しても反応しません。
●設定の確認は冷蔵室ドアを開けるか、いずれかのボタンを押してください。設定内容を表示します。
●操作終了後、約40秒後に、節電のため操作部の表示が消灯します。但し、「急速冷凍」「節電」「製氷停止」表示および「給水」お知らせサイン、[eco運転サイン]表示は前記機能が設定されている場合は消灯しません。
●冷蔵室ドアを開けて表示を点灯させた場合は、閉めてから約15秒後に消灯します。
●ドア開放状態が1分以上になると、音と光でドアが開いていることをお知らせします。

準備する

ご使用になる前の準備

1 次のような場所に設置する

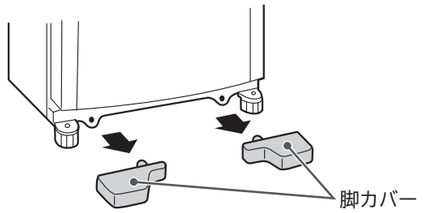
●床が丈夫で、水平なところ
じゅうたん、畳、フローリング、塩化ビニールなどの床で変形、変色の恐れがある場合は板（1cm厚以上）を敷いてください。
●熱気・直射日光が当たらないところ
●湿気が少なく、風通しの良いところ
冷却力の低下や、電気代の増加をおさえます。また、変色やさびをおさえます。
●他の機器から離れたところ
テレビなどへの雑音や映像の乱れを防止します。
●効率良く冷やすために、周囲に十分な放熱スペースをあけてください。
●本体側面中央部は表示寸法より若干大きめになる場合があります。
余裕を持って設置してください。
●背面は壁に着けられます。
振動音がする場合、または壁の変色や汚れが気になる場合は、すき間をあけてください。



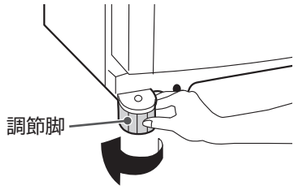
2 冷蔵庫を固定する

冷蔵庫前面下側の調節脚を回して固定します。

1 脚カバーの両端を持って、手前に強く引いてはずす



2 調節脚を回して、脚を床面まで降ろし固定する（左右2ヶ所）



お知らせ ●地震に備えて「冷蔵庫用地震転倒防止ベルト」（別売部品）を2個ご使用になり、丈夫な壁や柱に固定していただくことをおすすめします。➔ P.31

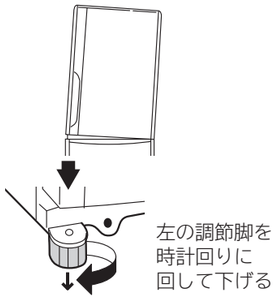
3 ドアの平行調整をする

●冷蔵庫の設置する場所が水平でなかったり、床材がやわらかくて、食品の重みが加わり冷蔵庫の脚が沈んだりすることにより、冷蔵室のドアに傾きが生じる場合があります。
→機能上問題ありませんが、気になる場合は下記の手順でドアの平行調整を行ってください。
左右水平にし、冷蔵庫の前側をやや上げ気味に調整するとドアが閉まりやすくなり半ドアになりにくくなります。

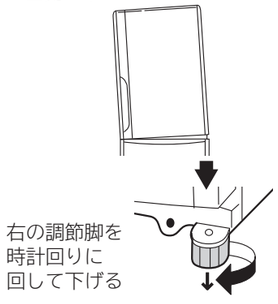
1 ドアが下がっている側の調節脚を、冷蔵室ドアが水平になるように回す

調整脚を回す量は、ドア段差1mmにつき1回転を目安にしてください。

■右側が下がっている

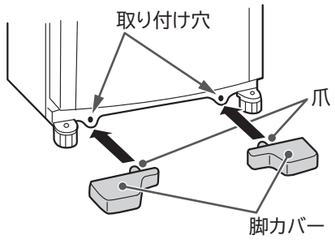


■左側が下がっている



2 脚カバーの爪（左右）を冷蔵庫本体の取り付け穴に差し込み、取り付ける

冷蔵庫本体が床になじみ、ドアが平行に直るまでに、5日程度かかる場合があります。時間が経っても直らない場合は再度調整してください。

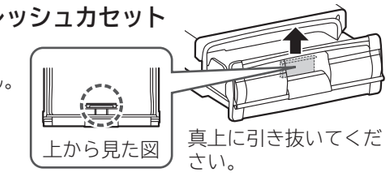


お知らせ ●冷蔵室ドアを開いた状態で手を離したとき、ドアが動く場合がありますが、故障ではありません。

4 真空チルドルーム内のフレッシュカセットのシールをはがす

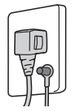
真空チルドケース手前にセットしてあるフレッシュカセットのシールをはがしてからご使用ください。
●シールをはがさないと、辛み成分が放出されません。

ご注意
●水洗いをしないでください。
●直接においをかがないでください。
●分解しないでください。



5 電源プラグを差し込む

設置後、すぐに電源プラグを差し込んでも問題ありません。
コンセントは単独で差し込んでください。（交流100V、定格15A以上）

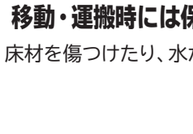


庫内の冷却がはじまります

●冷蔵庫の周囲の温度や、食品の収納状態によって庫内が十分に冷えるまでに**約10時間程度かかります。夏場など暑いときは、24時間以上**かかることがあります。
アイスクリームや冷えていない食品、傷みやすい食品は庫内が十分冷えるまで入れないでください。
●はじめて自動製氷をお使いのときは、手順に従い自動製氷機の「製氷おそうじ」をしてください。➔ P.22
●自動的に行う一連の製氷動作は庫内が十分冷えてから開始します。
（使いはじめは、**最初の氷ができるまでに24時間以上**かかることもあります。）

万一の感電防止のためにアースをおすすめします。➔ P.31

●湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース・漏電遮断器の取り付けを販売店にご相談ください。

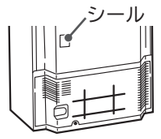


アース線を接続してはならないところ

●水道管（感電の危険）
●ガス管（爆発の危険）
●電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険）

お知らせ
●電源プラグを差し込んだ後、自動製氷機や冷気フラップの状態を確認する為に、モーターが約3分間動き続けます。（通常よりモーターの音が大きく感じることがありますが、異常ではありません）
●使いはじめにプラスチックからにおいがすることがあります。念のため、お部屋の風通しをよくしてください。においはしだいに消えます。

ご注意
●背面のシールをはがさないでください。
●マグネットや吸盤を本体やドアの表面に付けた場合、跡が残る場合があります。
●硫化ガス噴出の温泉地区等に設置する場合は、配管の防さび処理が必要となる場合がありますので、あらかじめ販売店にご相談ください。また、ガス害による故障は保証の対象外となります。



移動・運搬の準備（引っ越しをする）

1 **食品や氷を取り出す**

2 **給水タンクの水を捨てる**
製氷おそうじ運転の1～4を行う。➔ P.22

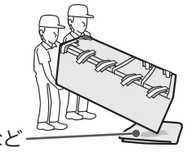
3 **電源プラグを抜く**
移動直前でも問題ありません。

4 **脚カバーをはずし、調節脚を上げる**

5 **ドア・電源コードをテープで固定する**

6 **移動・運搬時には保護用のシート・布などを敷く**
床材を傷つけたり、水がこぼれたりすることを防ぐため。

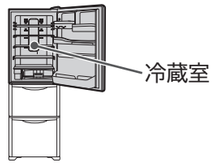
7 **保護用のシート・布などを置き、冷蔵庫を後方に倒して、水抜きをする**

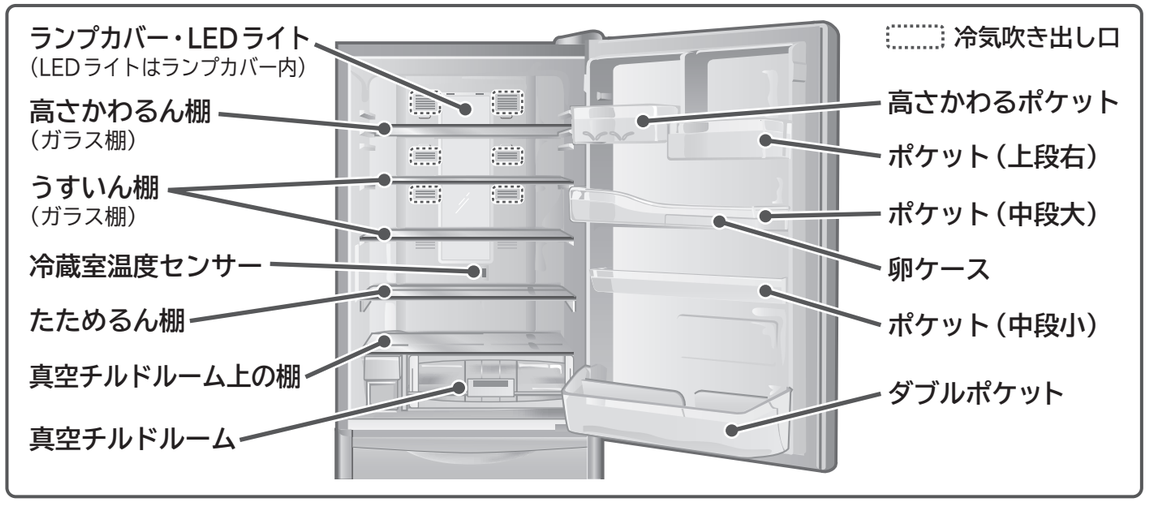


8 **運搬用取っ手を持ち、2～4人以上で運ぶ**
輸送のときは横積みしないでください。
（冷蔵庫の故障の原因）

9 **ご使用になる前の準備にしたがって設置する**➔ P.8

冷蔵室





ご注意 冷気吹き出し口

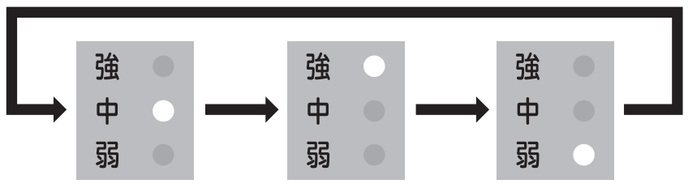
- ●冷気吹き出し口付近は温度が低くなるので、水分の多い食品や缶飲料は置かないでください。凍結したり、破損する恐れがあります。
- ●冷蔵室温度センサーの近くに高温の食品を置くと冷蔵室全体の温度が低くなり、食品が凍結する場合があります。
  センサーの近くでは、なるべくすき間をあけて食品を置いてください。
- ●高さかわるん棚・うすいん棚・たためるん棚にビン類や食品容器を載せる場合は、ランプカバーに強く突き当てないでください。
  ランプカバーが割れることがあります。
- ●熱いものは冷ましてから入れることをおすすめします。
- ●においの強い食品はラップをすることをおすすめします。

冷蔵室の温度を調節する

1

冷蔵 ボタンを押してお好みの温度に変更する

押すごとに以下のように表示が順番に切り替わります。
出荷時は、「中」に設定されています。



※周囲温度30℃で、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの冷蔵室の目安温度です。

- ●通常は「中」の位置でお使いください。温度は使用条件により多少変動します。
- ●温度をさらに細かく調節することもできます。→P.19

お知らせ

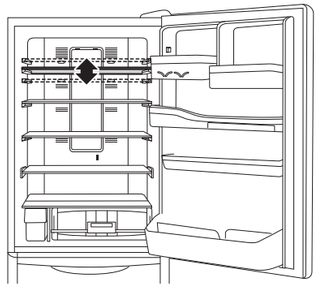
- ●温度設定を「強」または「弱」にしますと、真空チルドルームの温度も多少変動します。
- ●ドアポケットは上記の温度より若干高めになります。

棚やポケットの高さをかえる

食品や飲料の大きさにあわせて棚やポケットの位置をかえることができます。

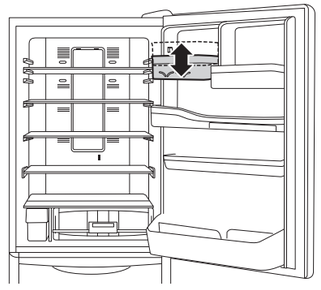
■高さかわるん棚

食品や飲料の高さに応じて 調節できます。
はずしかた・取り付けかたについては →P.24



■高さかわるポケット

食品や飲料の高さに応じて 調節できます。
はずしかた・取り付けかたについては →P.24

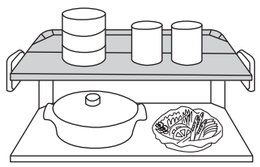


ご注意
- ●ガラス棚に強い衝撃を加えないでください。(ガラス棚が割れてけがをする恐れがあります。)
- ●ガラス棚は重いため取り付け、取りはずしには十分注意してください。

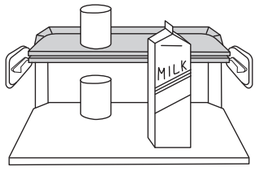
■たためるん棚

食品や飲料の高さに応じて３段階に調節できます。
はずしかた・取り付けかたについては →P.24

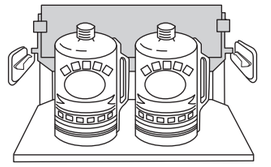
●出荷時の状態



●背の高い食品の収納など



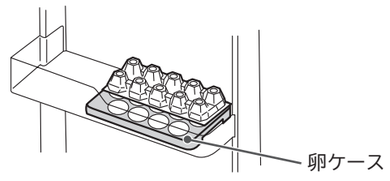
●背が高く大きい食品の収納など



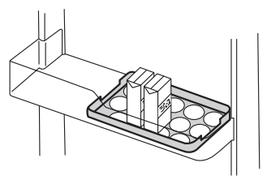
卵ケースを使う

卵などを入れて、冷蔵室内におくことができます。

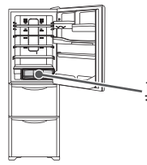
卵を14個収納できます。
卵パックのまま収納することもできます。

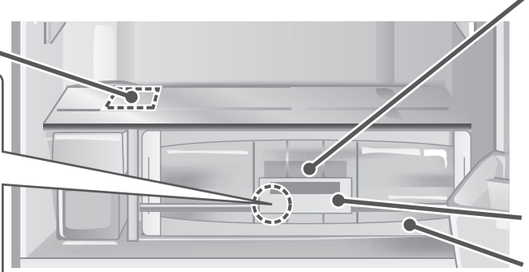


卵ケースを裏返すと小物食品を入れることができます。



真空チルドルーム

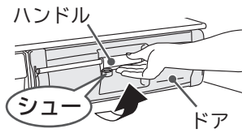




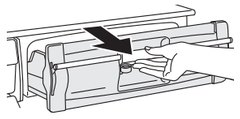
真空チルドケースを開け閉めする

開けるとき

1 ハンドルを引き上げてロックをはずす



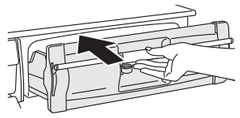
2 真空チルドケースを手前に引き出す



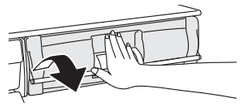
“シュー”と音が聞こえている間は真空状態のため、ドアは引き出せません。
音が消えてから手前に引き出してください。

閉めるとき

1 真空チルドケースを奥まで押し込む



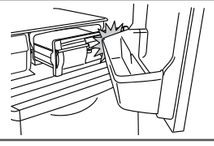
2 ハンドルを下げてロックする



ハンドルを最後までしっかり下げてロックします。
しっかり下げないと真空チルド機能が正常に動作しません。

ご注意

真空チルドケースを引き出したまま冷蔵室ドアを閉めると部品を破損することがあります。



お知らせ

- 真空チルドルームのドアを閉め、ハンドルをロックし、冷蔵室ドアを閉じると真空ポンプが動作します。
- 真空ポンプが動作をはじめると、音がしますが異常ではありません。
- 真空ポンプが動作してから真空状態になるまでに、約２分かかります。２分以内に真空チルドルームのドアを開けても“シュー”と音がしない場合がありますので、真空状態の確認は２分以上待ってから行ってください。
- 真空チルドルームは間接冷却のため、他の部屋と比べて食品が冷えるまでに時間がかかります。

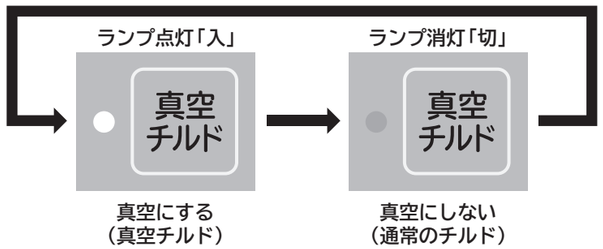
ご注意

- フレッシュカセットは水洗いしないでください。万が一、水洗いしてしまった場合は十分に乾かしてからお使いください。
- フレッシュカセットは直接においをかがないでください。刺激臭がすることがあります。
- フレッシュカセットは分解しないでください。

真空チルドルームの設定を変更する

1 真空チルド ボタンを押してお好みの設定に変更する

押すごとに以下のように表示が順番に切り替わります。
出荷時は、真空チルド（ランプ点灯「入」）に設定されています。



真空チルド

酸化を防ぐことで、栄養成分や風味を従来よりも長持ちさせることができます。

■収納に適した食品

●肉類・加工肉

牛肉・豚肉・鶏肉・ハム・ソーセージなど

●魚介類・海産物

あじ・いわし・さんま・いくら・たらこなど

●野菜・果物

野菜サラダ・赤ピーマン
リンゴ・オレンジ・キウイなど

●その他

コーヒー豆・茶葉・乳製品・練り物など

■収納に注意が必要な食品・容器

●密封袋入り食品

収納中に袋が膨らみ、他の食品をつぶすことがありますのでご注意ください。
ウインナソーセージ・袋入りチーズなど

●プラスチック密閉容器

ふたが浮いたりずれることがあります。
取り出すときにご注意ください。

■収納に適さない食品

●低温に弱い野菜

低温に弱く表面がくぼんだり、変色することがあります。

おくら・アスパラガス・生姜・ピーマン

通常のチルド

真空機能は働きません。

収納に注意が必要な「密封袋入り食品」「プラスチック密閉容器」を収納する場合におすすめします。

お知らせ
- 食品にラップをしても真空による効果は変わりません。

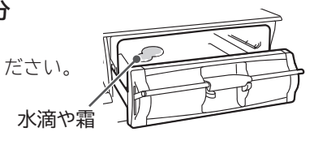
ご注意
- 周囲温度が低いとき、水分の多い食品は凍ることがあります。
- 冷蔵室・冷凍室の温度設定を「強」または「弱」にしますと、真空チルドルームの温度も多少変動します。

お願い

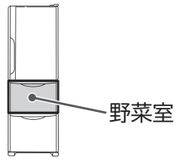
真空チルドルームは密閉しているために、食品や空気中にふくまれる水分により、ルーム内に水滴や霜がつくことがあります。

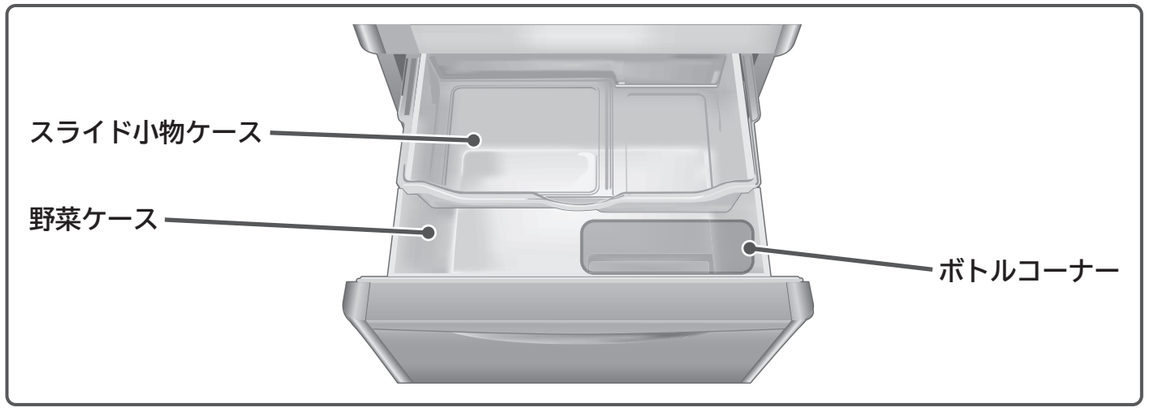
- 水滴や霜がついた場合は、やわらかい布にぬるま湯をふくませてふき取ってください。
- ルーム内に水や食品汁をこぼした場合は、すぐにふき取ってください。

※水滴や霜がついても性能には支障ありません。



野菜室



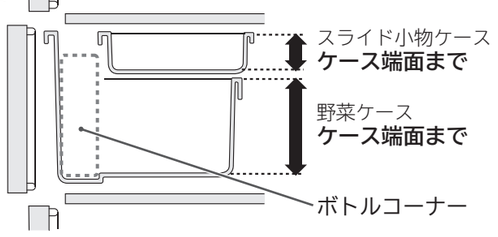


野菜室を使う

やさしくしっかり冷やし、野菜の乾燥も抑えます。

収納できる食品の高さ

断面図



収納食品

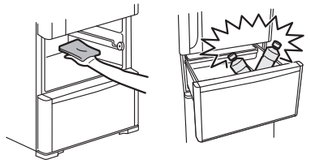
スライド小物ケース	トマト、レモンなどの小物野菜、果物など
野菜ケース	キャベツ、レタスなどの大物、中物野菜 ボトルコーナー　2Lペットボトル、ビール大ビンなど

ご注意

●ケースより高く食品を積み上げないでください。
・ドアが完全に閉まらなくなり、冷えが悪くなることがあります。
・食品や各ケースを破損することがあります。

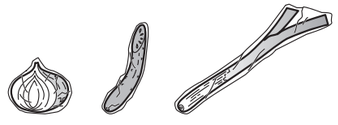
●野菜室は湿度が高いため、野菜の量や種類によっては、スライド小物ケースや野菜室天井に結露します。水がたまると食品が傷みやすくなるので、乾いた布でふき取ってください。

●ペットボトルの種類により、収納できない場合があります。また、ペットボトルのキャップを確実に閉めないと収納できない場合があります。
●外気温が低いときは、ケース内の温度が低くなる場合があります。
●野菜室のドアは、ゆっくりと開閉してください。勢いよく開閉しますと、ボトルコーナーの食品（ペットボトルなど）が転倒することがあります。
●野菜室の底面に葉もの類を寝かせて入れた場合、まれに凍結することがあります。食品包装用トレイなどを敷いて入れてください。
（野菜室は容器の周りから間接的に冷却しており、容器底面の温度が低くなっているためです。）

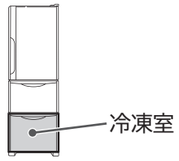


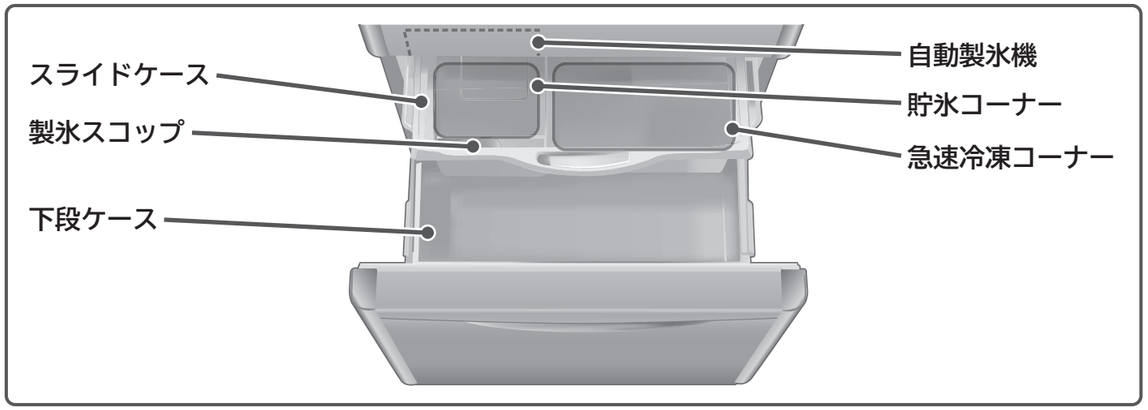
お知らせ

●こんなときには野菜にラップをしてください。
・長ねぎ、にら、わけぎなど、他の食品へのにおい移りが気になるとき
・使いかけの野菜や果物を保存するとき
・野菜が少ないときや、包装された野菜が多いとき
・野菜室内の結露が気になるとき



冷凍室



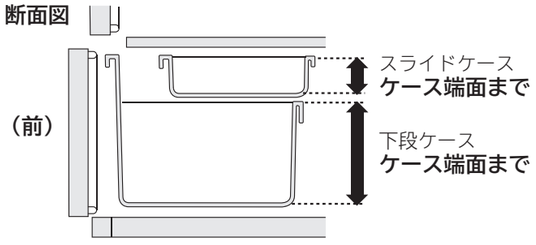


冷凍室を使う

急速冷凍コーナーは食品を急いで凍らせることができます。→ P.16
貯氷コーナーは給水タンクに水を入れセットするだけで氷ができます。→ P.17

収納できる食品の高さ

断面図



収納食品

スライドケース	小物、冷凍食品、密閉容器など
下段ケース	冷凍食品、食パン、アイスクリームなど 貯氷コーナー　自動製氷機でつくった氷の収納 急速冷凍コーナー　肉や魚を急いで冷凍するとき

ご注意

●ケースより高く食品を積み上げないでください。
・ドアが完全に閉まらなくなり、冷えが悪くなることがあります。　・食品や各ケースを破損することがあります。

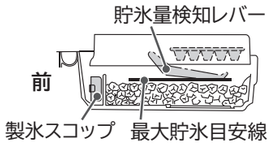
貯氷コーナーの氷の収納量・製氷時間

型式		R-S3700EV・R-S3700EVL	R-K370EV・R-K370EVL
氷の収納量	通常状態	約70個	
	氷をならした状態	約120個	
1回（10個）の製氷時間	通常の「製氷」	約150分	
	「急速製氷」	約90分	

※周囲温度30℃、各室温度設定「中」、ドア開閉なしのときの目安値

お知らせ

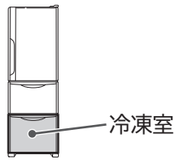
●氷の量は自動製氷機の貯氷量検知レバー（通常は見えません）が自動的に検知します。
氷が一定量になると製氷を自動停止し、少なくなると製氷を再開します。
●最大貯氷目安線は、氷をたいらにならして製氷したときの最大貯氷量の目安です。
氷が部分的にたまると、早期に貯氷量検知レバーが氷に当たり、貯氷量が少ない状態で製氷が停止することがあります。



お願い

●貯氷コーナーには、自動製氷機でつくった氷以外の冷凍食品などを入れないでください。
（氷ができなくなったり、食品が製氷機の部品に当たり、ドアが開かなくなったり、部品が破損することがあります）
●冷凍室のドアは、ゆっくりと開閉してください。勢いよく開閉しますと、貯氷コーナーから氷がこぼれ、下段ケースに落ちることがあります。

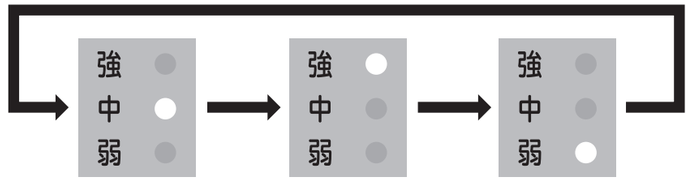
冷凍室



冷凍室の温度を調節する

1 冷凍 **ボタンを押してお好みの温度に変更する**

押すごとに以下のように表示が順番に切り替わります。
出荷時は、「中」に設定されています。



※周囲温度30℃で、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの冷凍室の目安温度です。

- ●通常は「中」の位置でお使いください。温度は使用条件により多少変動します。
- ●温度をさらに細かく調節することもできます。➔P.19

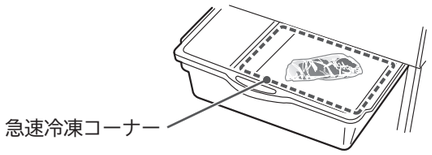
お知らせ

- ●「急速冷凍」運転時は、上記の温度よりさらに低めの温度になります。
- ●「強」で長時間ご使用になると、アイスクリームなどが固くなったり、保存していた食品の解凍時間が長くなったりします。

食品を急いで凍らせる（急速冷凍）

1 **冷凍室の急速冷凍コーナーに食品をおく**

食品は薄く小分けにすると、中心まで速く凍るだけでなく、
取り出しやすく便利です。



2 冷却モード **ボタンを押して「急速冷凍」を点灯させる**

「急速冷凍」運転中は「急速冷凍」表示が点灯しつづけ、その他の表示は
約40秒後に消灯します。

約120分で運転を自動終了し、「急速冷凍」表示が消灯します。

途中で解除 冷却モード **ボタンを押して「急速冷凍」を消灯させる**

お知らせ

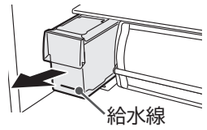
- ●「節電」モードに設定されていた場合は、「節電」モードは解除されます。
- ●「急速冷凍」運転時は冷凍室を優先して冷却しますので、特に冷蔵室のドア開閉が多いときなど冷蔵室の温度が上がりやすくなります。
- ●「急速冷凍」運転終了後の約60分間は、再度冷却モードボタンを押しても、「急速冷凍」表示は点灯しますが、「急速冷凍」運転は行いません。約60分経過してから運転を行います。
- ●薄肉等の食品を入れるときには、ラップをしてください。密着する場合があります。
- ●食品を熱いまま急速冷凍することはできません。

氷をつくる（製氷）

1 製氷 **ボタンを押して「製氷」を点灯させる**

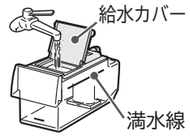
2 **給水タンクを取り出す**

給水お知らせサインが点灯するか、水が「給水線」に近くなったら水を補給してください。
➔P.19



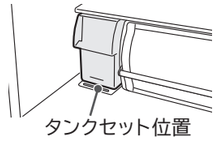
3 **給水カバーを開けて水を入れる**

「満水線」まで入れてください。



4 **給水タンクをもどす**

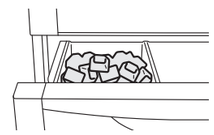
「タンクセット位置」の線を越えるまでしっかりとまっすぐに押し込んでください。給水タンクをタンクセット位置より奥に押し込まないと、給水されません。



※給水タンクを傾けると水がこぼれることがあります。
水がこぼれたときは、すぐにふき取ってください。

自動で製氷運転を開始します

貯氷コーナーに氷が保存されます。
1回の製氷で10個ずつ氷ができます。



急いで氷をつくる（急速製氷）

1 冷却モード **ボタンを押して「急速冷凍」を点灯させる**

「製氷」より、短い時間で氷ができます。
1回の製氷で10個ずつ氷ができます。

「急速冷凍」運転中は「急速冷凍」表示が点灯しつづけ、その他の表示は約40秒後に消灯します。

約120分で「急速冷凍」運転を自動終了し、「急速冷凍」表示が消灯します。

氷をつくらない（製氷停止）

1 製氷 **ボタンを押して「製氷停止」を点灯させる**

自動製氷を停止し氷をつくりません。

※1週間以上「製氷停止」にする場合は自動製氷機のお手入れをしてください。➔P.22,23

お知らせ ●「製氷停止」の表示は消灯しません。

お知らせ

次のようなときは、氷ができるまで時間が長くかかります。

- ・はじめてお使いのとき（24時間以上かかることがあります）
- ・「節電」モードに設定しているとき
- ・ドアの開け閉めが多いとき
- ・冷蔵庫に大量の食品を一度に入れたとき
- ・停電があったとき
- ・冬場など周りの温度が低いとき
- ・冷凍室が半ドアになっているとき

はじめて氷をつくるとき、1週間以上氷をつくらなかったときは、「製氷おそうじ」をしてください。
➔P.22

お願い

- ●水道水での製氷をおすすめします。1週間に1回以上給水タンクを水洗いしてください。➔P.23
- ●ミネラル成分の多い水でつくった氷を水に入れると、白い浮遊物（ミネラル成分）がでることがありますが、害はありません。水道水以外は、雑菌が繁殖しやすくなるため、3日に1回以上の頻度を目安に給水タンクを洗ってください。
- ●水以外のものを使用しないでください。故障や、変形、氷がつながるなどの原因になります。

○

ミネラルウォーター
（硬度：100mg/L以下）

浄水器の水

井戸水
（水質基準を満足するもの）

×

ジュース類

スポーツドリンク

炭酸飲料

お茶

いろいろな機能

「節電」モードの設定

1 冷却モード **ボタンを押して「節電」表示を点灯させて「節電」モードに設定します**

押すごとに以下のように表示が順番に切り替わります。
「節電」モードを止めるときには、「節電」表示を消灯させてください。

「節電」モードは、さらに積極的に節電をしたいときにご使用ください。
「節電」モードに設定すると、
- **各室の温度設定を、冷却を弱める方向にシフトします。**
- 冷蔵室ドアの開放時間が長く続くと（30秒以上）、冷蔵室のLEDライトの明るさを抑えて節電します。

お知らせ
- 「節電」モード設定中に「急速冷凍」に切り替えると、「節電」モードが解除されます。再度設定してください。
- 設定温度を「弱」でお使いの場合は、設定温度をシフトしないため、節電効果はありません。

ご注意
- **冷却を弱める方向にシフトするため、アイスなどがやわらかくなったり、冷凍食品に霜がつく場合があります。また、食品を冷凍させる場合の凍結時間や、製氷時間は通常より長くなります。**

ドアアラームと操作音の音量調整

ドアアラームと操作音の音を鳴らなくすることができます。

1 冷却モード **ボタンを設定音が鳴るまで３秒以上押しつづける**

設定の切り替えを繰り返し、ご希望の設定（下表参照）に切り替えてください。
出荷時は、音が鳴る状態に設定されています。

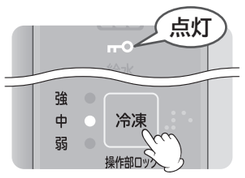
設定	通常	音切
設定音	ピピッ	ピーッ

お知らせ
- ドアアラームと操作音の片方のみを設定することはできません。
- 音を鳴らないようにすると、表示部の点滅も行いませんが「製氷おそうじ」のアラームは鳴ります。
- 電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後は音が鳴る状態に戻ります。

操作部ロック

誤操作や、小さなお子さまのいたずらによる設定の変更を防止することができます。
🔒（操作部ロック）表示が点灯しているときはその他のボタンを押しても切り替わりません。

1 冷凍 **ボタンを設定音が鳴るまで３秒以上押しつづける**



操作部ロックが「入」または「切」に切り替わります。
出荷時は、操作部ロック「切」（🔒消灯）に設定されています。

操作部ロックの設定	「入」（ロック中）	「切」（ロック解除）
「🔒」表示	点灯	消灯
設定音	ピーッ	ピピッ

お知らせ
- **電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後は操作部ロックが解除される場合があります。**

温度微調節（冷蔵室・冷凍室）

冷蔵室と冷凍室の温度設定をさらに細かく９段階に調節することができます。

1 **冷凍室のドアを開ける**

2 冷蔵 **ボタンをピーッと鳴るまで５秒以上押しつづける**

3 **冷凍室のドアを閉める**

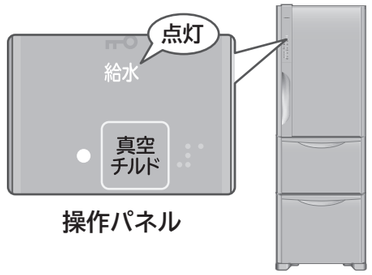
4 冷蔵 **ボタンまたは** 冷凍 **ボタンを押して各室を調節する**
１回押すごとに１段階強くなります。（「強」で押すと「弱」に戻る）
（●：点灯、▨：点滅、○：消灯）

表示	強 中 弱	強 中 ▨ 弱	強 中 ● 弱	強 中 ▨ 弱	強 中 ● 弱	強 中 ▨ 弱	強 中 ● 弱	強 中 ▨ 弱	強 中 ● 弱
設定	弱	➡	➡	➡	中	➡	➡	➡	強

解除 **手順１、２の操作をする**
アラーム音がピピッと鳴り、通常の調節に戻ります。

給水お知らせサイン

給水タンクの水が少なくなると、給水お知らせサインが点灯します。給水タンクに水を補給してください。



操作パネル

お知らせ
- 給水お知らせサインが点灯中に冷蔵室ドアを開閉すると、給水お知らせサインは最大５時間消灯しますが、水が補給されない場合は再び点灯します。
- 自動製氷機の設定が「製氷停止」のときは給水お知らせサインは点灯しません。

ご注意
- 給水タンクに水があっても、給水タンクがしっかりと押し込まれていないと、給水お知らせサインが点灯します。給水タンクをしっかりとまっすぐに押し込んでください。

eco運転サイン

消費電力量を抑えて運転しているときに、自動で点灯して省エネ運転をお知らせします。

お知らせ **〔eco運転サイン〕が点灯しない場合は、以下の理由が考えられます。**
- 設置直後や一度に多くの食品を収納したとき、ドアの開け閉めが多いとき
- 「急速冷凍」を設定しているとき
- 冷蔵庫の周囲の温度が約35℃以上のとき

eco運転サイン

ドアアラーム

ドアの開放状態が１分以上になると、下表のように音と光でドアが開いていることをお知らせします。
ドアアラーム機能は、冷蔵室、冷凍室についています。（野菜室にはついていません）

ドアの開放時間	１分後	２分後	３分後
アラーム音	ピーッ（３回）	ピーッ（５回）	ピーッ（連続）
操作部ランプ	点滅	点滅	点滅

※節電モード設定時のみドア開放時間30秒後にも、ドアアラームは鳴ります。（このとき、操作部ランプは点滅しません。）
※ドアアラーム機能により操作部ランプが点滅中はボタンを押しても反応しません。

お手入れ〈定期的な点検〉

⚠警告　●お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

■汚れに気づいたら
●すぐにふき取りましょう。見えない部分も年に一回はお手入れすることをおすすめします。

電源プラグ　年に1、2回

1 電源プラグをコンセントから抜く
電源プラグについたほこりをそのまま放置すると火災の原因になります。

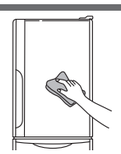
2 点検する
コードに傷はありませんか？
電源プラグが熱くなっていませんか？
※異常を感じたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

3 ホコリなどを取り除き、乾いた布でふく

4 電源プラグをコンセントにしっかり差し込む

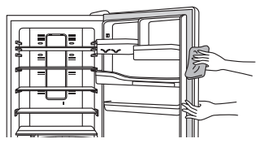
ドア表面　月に1回

やわらかい布にぬるま湯をふくませてふいてください。



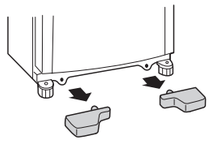
ドアパッキング　月に1回

汚れやすいところなので、よくふき取ってください。

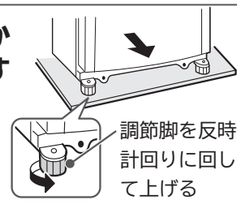


冷蔵庫背面・床　年に1、2回

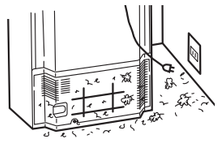
1 脚カバーを手前に引っ張ってはずす
取り付けの際は、正面から押し込んでください。



2 調節脚を床から浮かせ、冷蔵庫をまっすぐ手前に引き出す
キズの付きやすい床では、保護用の板などを敷いてください。

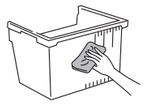


3 背面・壁・床の汚れをふき取る
背面は空気の対流により、細かいホコリが付着して汚れやすいところです。



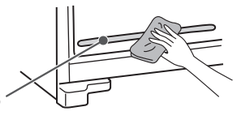
各棚・ポケット・ケース　月に1回

やわらかい布で、からぶきしてください。
取りはずしかたは →P.24,25



汁受け部　月に1回

汁が溜まったり汚れた場合、ふき取ってください。



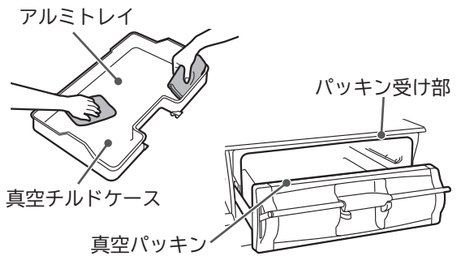
ご注意
- ●ドア、塗装面やプラスチック、ガラス面を傷めたり、変色させたりする場合がありますので、次のものは使わないでください。
  アルカリ性、弱アルカリ性の台所用洗剤、磨き粉、粉石けん、石油、熱湯、たわし、酸、ベンジン、シンナー、アルコール、漂白剤など
  （洗剤の「家庭用品品質表示法に基づく表示」の「液性」の欄をご確認ください。）
- ●化学ぞうきんをご使用の際には、その注意書きに従ってください。
- ●食用油、かんきつ類の果汁、食品の汁が付いたときは、必ずふき取ってください。
- ●ケース類や引き出しレールの可動接触面には潤滑剤が塗られているのでふき取らないでください。
  （潤滑剤は食品衛生法に適合しています。）
- ●マグネットや吸盤を本体側面やドア表面に付けた場合、跡が残る場合があります。

真空チルドルーム　月に1回

1 真空チルドケースを引き出す
取りはずしかたは →P.24
真空チルドケース内に収納されている食品は必ず取り出してください。

2 フレッシュカセットを取りはずす
→P.9
フレッシュカセットは固く絞った濡れたふきんで汚れを落としてください。

3 下記部品を、やわらかい布にぬるま湯をふくませてふく



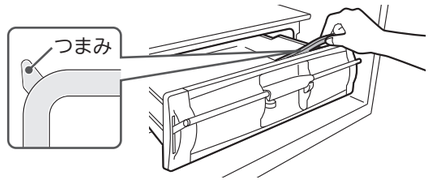
4 フレッシュカセットを真空チルドケースに取り付ける

5 真空チルドケースを取り付ける
取り付けかたは →P.24

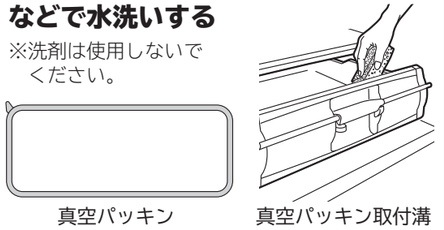
ご注意
- ●フレッシュカセットは水洗いしないでください。
- ●真空パッキンは、ぬるま湯以外の洗剤などを使用すると、破損・変形・変色し、真空状態を保てなくなることがあります。
- ●真空パッキンの緩みや真空チルドドアのがたつきがあると真空状態を保てなくなります。

真空パッキンの汚れがひどいときは

1 真空チルドケースから真空パッキンをはずす
向かって右上の真空パッキンのつまみに手をかけてていねいにはずします。



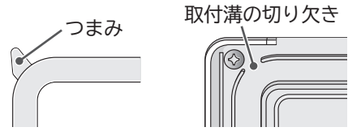
2 汚れた部分をやわらかいスポンジなどで水洗いする
※洗剤は使用しないでください。



真空パッキン取付溝の汚れをふき取ってください。

3 乾いた布などで水気をふき取り、自然乾燥させる

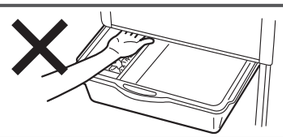
4 真空パッキンを取り付ける
真空パッキンのつまみを取付溝の切り欠きに合わせてしっかりと取り付けてください。



お手入れ〈定期的な点検〉～つづき～

⚠警告

●自動製氷機の機械部には手を入れない。
（製氷皿が回転したとき、けがをすることがあります。）



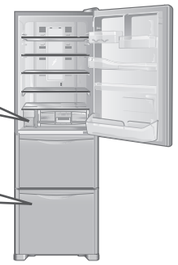
製氷おそうじ　はじめてお使いのとき　自動製氷機を１週間以上使わなかったとき

準備

操作の前に、次のことをご確認ください。

給水タンク
・満水線まで水が入っている。
・タンクセット位置を越えて正しくセットされている。

貯氷コーナー
・冷凍室の貯氷コーナーを空にする。



確認したら、次の操作をしてください。

1 全てのドアを閉める

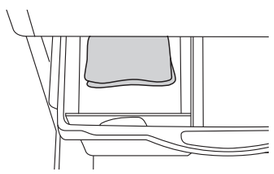
2 製氷 ボタンをアラームが鳴り出すまで5秒以上押しつづける

「製氷」「製氷停止」の２つの表示が点滅し、アラームが鳴り出したら指を離してください。
「製氷おそうじ」（給水路）がスタートします。（約３分間）

・約３分間表示が点滅し、アラームが鳴りつづけます。
・「製氷おそうじ」は、途中で中止することはできません。
・「製氷おそうじ」中に冷蔵庫のいずれかのドアを開けると、正常に動作しない場合があります。
　終了するまで全てのドアの開閉を行わないでください。
・ドアアラームを鳴らないように設定しているときでもアラームは鳴ります。➔P.18

3 アラームと表示点滅が終わったら、貯氷コーナーの底にきれいなタオルなどを敷く

製氷おそうじのときに出る水が、スライドケースを取りはずす際に貯氷コーナーからこぼれるのを防ぐため、吸水用のタオルを敷きます。



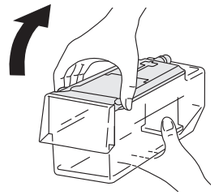
4 スライドケースを取りはずし、ケース内の水をきれいにふき取ったあと冷凍室にセットする

スライドケースを取りはずし、貯氷コーナーの水をきれいにふき取ったあと、タオルなどは取り除いてください。
給水タンクに残った水は、そのまま製氷にお使いいただけます。
「製氷おそうじ」終了後は、「製氷」に設定されます。

給水タンク　週に１回

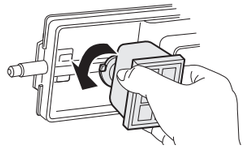
1 給水タンクを取り出し、ふたをはずす

ふたの手前側を矢印の方向へ持ち上げてはずしてください。



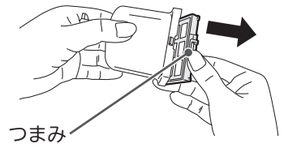
2 ふたからパッキングとケースをはずす

ケースはまわしてふたからはずします。



3 ケースから浄水フィルターをはずす

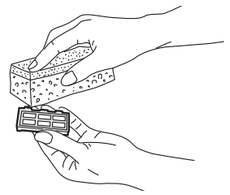
浄水フィルターのつまみを指で引っ張ってケースからはずします。



4 給水タンクの各部品を水洗いする

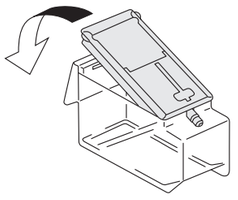
やわらかいスポンジで水洗いしてください。
洗剤などは使わないでください。

浄水フィルター交換の目安は約３～４年です。
➔P.31



5 給水タンクの各部品を取り付けてから、水を入れてセットする

ふたの後側から差し込み、矢印の方向へ閉めてください。



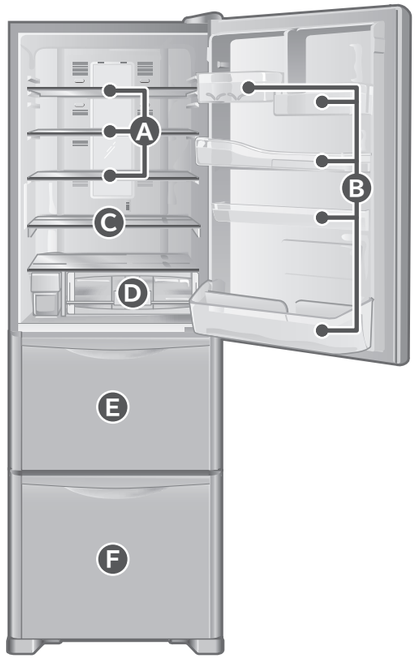
お知らせ

●ミネラルウォーター、井戸水、浄水器の水、湯冷ましなど（塩素をふくまない水）は、水道水に比べ水アカ・ぬめりが発生しやすくなりますので、３日に１回お手入れをしてください。
●自動製氷機を１週間以上使わないときは、給水タンクをよく乾かして所定の位置にセットしてください。（特に浄水フィルターはよく乾かしてください）
　また、自動製氷機を１週間以上使わなかったときは、使用開始する前に「製氷おそうじ」をしてください。➔P.22

部品のはずしかた・取り付けかた

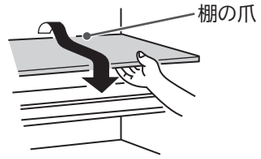
ご注意

- ●部品をはずすときは、部品に載っている食品を取り除いてから行ってください。
- ●ここで説明している部品以外は、はずさないでください。
  説明していない部品をはずして掃除をしたいときなどは、エコーセンターにご相談ください。→P.32
- ●引き出しドアの枠やケースは、確実に取り付けていないとドアを閉めた状態で、パッキングにすき間が生じる場合があります。
- ●部品の取りはずし、取り付けの際は、ドアを90度以上開いてください。



A 高さかわるん棚・うすいん棚（ガラス棚）

棚の奥を少し持ち上げ、手前に引き出す。



取り付けの際は、棚を奥面に当たるまで入れた後に棚の奥を少し持ち上げ押し込んでください。(棚の爪を奥面部品へ引っ掛ける)

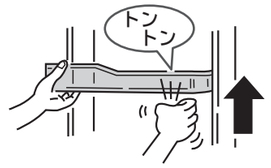
ご注意

ガラス棚は重いため取り付け、取りはずしには十分注意してください。落下すると打撲や破損によりけがをする恐れがあります。

B ドアポケット

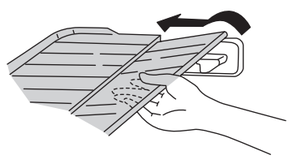
底面の左右を軽くたたきながら持ち上げてはずす。
(固めに固定してあります。)

取り付けの際は、最後までしっかり入れてください。

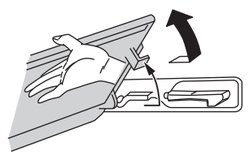


C たためるん棚

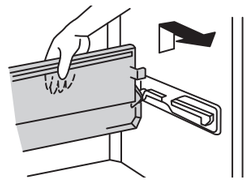
1 手前を少し持ち上げて押し込む。



2 奥まで押し込んだ手前の棚を1cmくらい引いて奥に立てる。



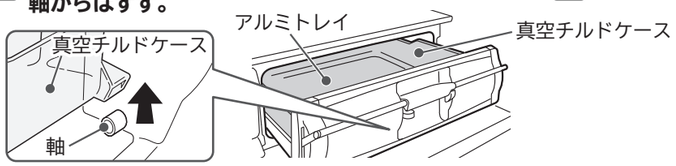
3 上に持ち上げてはずす。



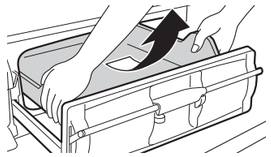
取り付けの際は、はずしかたの逆の順序でセットしてください。

D 真空チルドケース

1 真空チルドケースの手前側を軽く持ちあげてドアの軸からはずす。



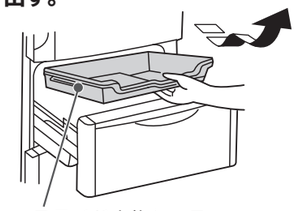
2 真空チルドケースを滑らせるように引っぱり出す。



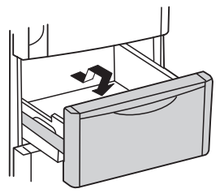
真空チルドケースを水洗いする際にはフレッシュカセットを必ず取りはずしてください。
取り付けの際は、はずしかたの逆の順序でセットしてください。

E スライド小物ケース・野菜ケース（野菜室）

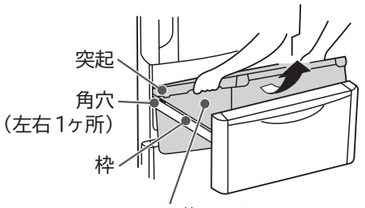
1 ドアを手前いっぱいに開け、図のようにスライド小物ケースを引き出す。



2 ドアの手前を持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、ドアを傾ける。



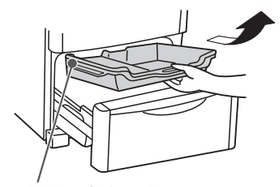
3 下段ケースを手前に持ち上げる。



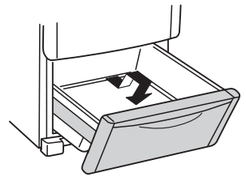
取り付けの際は、野菜ケース左右奥側の突起を枠の角穴に入れ、野菜ケースのふちを枠の上に乗せるようにセットしてください。

F スライドケース・下段ケース（冷凍室）

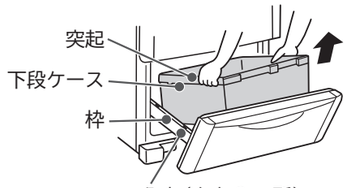
1 ドアを手前いっぱいに開け、図のようにスライドケースを引き出す。



2 ドアの手前を持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、ドアを傾ける。



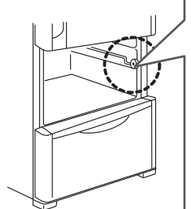
3 下段ケースを手前に持ち上げる。



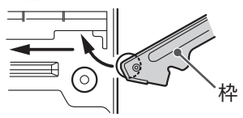
取り付けの際は、下段ケース左右前側の突起を枠の角穴に入れ、下段ケースのふちで枠を抱え込むようにセットしてください。

引き出しドアのはずしかた・取り付けかた（野菜室・冷凍室）

野菜室

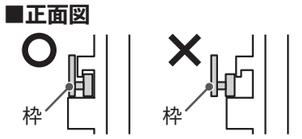


■側面図



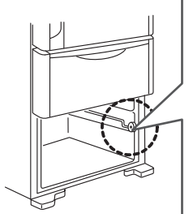
※ドアをはずした時は、枠を下から取り付けてください。

■正面図

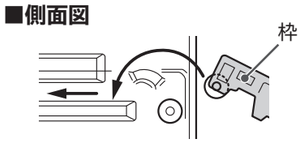


※枠のローラーをレール内に入れて取り付けてください。

冷凍室

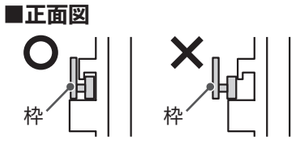


■側面図



※ドアをはずした時は、枠を上から取り付けてください。

■正面図



※枠のローラーをレール内に入れて取り付けてください。

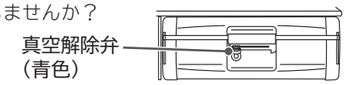
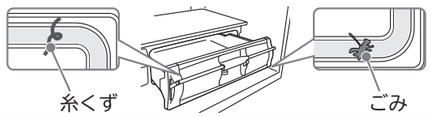
お困りのときは

修理を依頼される前に、次の点をもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店か弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

こんなときは		ここを確認してください	直しかた
使いはじめ	よく冷えない	夏場や食品が多い場合は、冷えるまでに時間がかかります。	故障ではありません。 設置直後は、**24時間以上**かかることがあります。
	製氷できない	お使いはじめは、庫内が冷えてから製氷運転を開始するために時間がかかります。 食品の量やつめかたにより、**最初の氷ができるまでに24時間以上**かかることがあります。	故障ではありません。 ドアの開閉を手早くしたり、できるだけ少なくしてください。 食品はすき間をあけて収納してください。
操作部	操作部が反応しない	操作部ロック「🔒」表示が点灯していませんか？	操作部ロックの設定を解除してください。 ➔P.18
		冷蔵室ドアを開けていませんか？	閉めてから操作してください。
自動製氷がうまくいかない	氷がまったくできない	自動製氷機の設定が「製氷停止」になっていませんか？	「製氷」に設定してください。➔P.17
		給水お知らせサインが点灯していませんか？	給水タンクに水を入れてください。➔P.19
		給水タンクが「タンクセット位置」の線を越えるまでしっかりと押し込まれていますか？	給水タンクを「タンクセット位置」を超えるまで押し込んでください。➔P.17
		貯氷コーナーに氷以外のものが収納されていませんか？	貯氷コーナーから取り除いてください。
		氷が部分的に最大貯氷目安線を越えてたまっていませんか？	氷をならしてください。➔P.15
	氷がなかなかできない	ドアを頻繁にあける、大量の食品を一度に収納するなどしていませんか？ 庫内が十分に冷えていない恐れがあります。	庫内が冷えるまでできるだけドアの開け閉めを少なくしてください。収納している食品同士の間隔をできるだけあけてください。
		冬場は氷ができるまでに1回あたり4時間以上かかることがあります。	故障ではありません。
		「製氷停止」の設定から「製氷」の設定に変更した直後は、通常より氷ができるまで時間がかかることがあります。	故障ではありません。
		食品や袋がはさまり、冷凍室が半ドアになっていませんか。	扉を閉めた状態でパッキングにすき間がないことをご確認ください。
		「節電」モードになっていませんか？	「節電」モードを解除してください。➔P.18
	氷に突起ができる	製氷皿の溝部分に溜まった水が凍ったものです。	異常ではありません。
	貯めた氷が丸くなる 氷同士がくっつく	長期間古い氷を貯めたままだと、自然に小さくなったりくっついたりします。	古い氷を捨てて、つくり直してください。
		ドアを頻繁にあける、大量の食品を一度に収納するなどしていませんか。	庫内の温度が上がり、貯めた氷が小さくなったりくっついたりします。
		一時的にドアや引き出しが半ドアになっていた可能性があります。	故障ではありません。
	できあがった氷が小さい	給水タンクの水が残り少なくなると、小さな氷ができることがあります。	給水タンクの満水線まで水を入れてください。 ➔P.17
	氷に白いにごりがある	水の中に溶け込んでいた空気の細かい泡が氷の中に閉じこめられた為です。	異常ではありません。
		ミネラルウォーターで氷をつくりましたか？	水にふくまれるミネラル分が凍って白くにごることがありますが、害はありません。
操作部の「P」表示などが点滅している	🔒3回点滅	製氷皿に、食品などが当たっている可能性があります。	製氷室を空にして「製氷おそうじ」を実施してください。➔P.22
	🔒点滅 （3回点滅除く）	異常があることをお知らせしています。	お買い上げ販売店にご相談ください。
	「製氷」ランプ 「製氷停止」ランプ 点滅	製氷おそうじを行なっています。	「製氷おそうじ」をご確認ください。➔P.22
	お知らせ表示以外の全てのランプが点滅	ドアが1分以上開放状態になっています。 （半ドアなど）	「ドアアラーム」をご確認ください。➔P.19

こんなときは		ここを確認してください	直しかた
冷えない	冷えない 霜・露がつく アイスがやわらかい	食品や袋がはさまり、半ドアになっていませんか？	ドアを閉めた状態でドアパッキングにすき間がないことをご確認ください。
		食品を無理に詰めたり、大量の食品を一度に入れていませんか？	収納する食品の高さに注意してください。 ➔P.10,14,15 食品はすき間をあけて収納してください。
		スライドケースがきちんと取り付けられていますか？	きちんと取り付けてください。➔P.25
		冷蔵庫を設置した場所やすき間、周りの状況などによって冷えにくい場合があります。	正しく設置されているかご確認ください。 ➔P.8
		「節電」モードになっていませんか？	「節電」モードを解除してください。➔P.18
		温度設定が「弱」になっているとよく冷えない場合があります。	よく冷えない部屋の温度設定を「中」または「強」に変更してください。➔P.10,16
		夏場など、冷蔵庫の周囲の温度が高くなっていませんか？	よく冷えない部屋の温度設定を「強」に変更してください。➔P.10,16
		冷蔵庫のドアを開けている間は庫内の温度が少しずつ上がります。開け閉めがひんぱんまたは長い時間ドアを開けたままにしておくと、庫内の温度が下がりにくくなります。	開け閉めの回数を少なくする、手早くするなどしてください。
霜や露がつく	庫内や引き出しの枠に霜や露がつく	一時的にドアや引き出しが半ドアになっていた可能性があります。	引き出しやドアを閉める際は食品や袋がはさまっていないかを確認してください。
		開け閉めの回数が多いとき、長時間開け続けた可能性があります。	開け閉めの回数を少なくする、手早くするなどしてください。
		外の暖かい空気が庫内やドア枠に触れると霜や露がつくことがあります。	乾いた布でふき取ってください。
		ドアを開閉したときに、空気中にふくまれる水分が、霜や氷となって、冷凍室の壁面や部品につくことがあります。	故障ではありません。 乾いた布でふき取ってください。
	冷蔵庫の外側に露がつく （外装、ドアパッキング、ドア、引き出しなど）	雨の日など屋内の湿度が高いときは露がつくことがあります。	故障ではありません。 乾いた布でふき取ってください。
		温度設定が「強」のときはドア表面に露がつくことがあります。	乾いた布でふき取ってください。 温度設定を「中」にしてください。
	冷蔵室の中が結露する	ドアの開け閉めの回数が多いときや、冷蔵庫の周囲の湿度が高いときは壁などが曇ったり、冷気吹き出し口のまわりに露がつくことがあります。	故障ではありません。 乾いた布でふき取ってください。
	野菜室の中が結露する	野菜室は他の部屋より湿度が高くなっています。（野菜を乾燥させずに長持ちさせるため）	気になるときはラップをかけて収納してください。
		結露が多くなると野菜室のケースなどに水が溜まる場合があります。	乾いた布でふき取ってください。
冷え過ぎる	冷え過ぎる 凍ってしまう	温度設定が「強」になっていませんか？	「中」にしてください。➔P.10,16
		周囲温度が5℃以下ではありませんか？	周囲温度が低いときは庫内が冷え過ぎることがあります。温度設定を「弱」にしてください。
		冷気吹き出し口の手前に置いていませんか？	冷気吹き出し口の手前には置かないでください。
ドアの傾きが気になる	ドアが傾いている	設置場所が水平でない可能性があります。	性能上問題なくそのままお使いいただけますが、気になるときは、左右の調節脚で調整してください。➔P.8
		床材がやわらかく、収納物の重みが加わり脚が沈んでいませんか？	冷蔵庫本体が傾く場合は、厚さ1cm以上の丈夫な板を敷いてください。
	ドアを閉めた直後開けようとすると重い	庫内に入った空気が急に冷やされて、圧力が一時的に低くなるためです。	異常ではありません。
	ドアを閉めると他のドアが開く	各室は冷気通路でつながっているため、ドアを閉める風圧で他のドアが一瞬開くことがあります。	異常ではありません。

お困りのときは ～つづき～

こんなときは		ここを確認してください	直しかた
真空チルドが気になる	開けるとき、“シュー”と音がしない	真空チルドのランプが消灯していませんか？	真空チルドルームの設定をランプ点灯に変更してください。➔P.13
		ハンドルが上に上がっていませんか？	ハンドルを押し下げてロックしてください。
		ハンドルを最後までしっかり押し下げてロックしていますか？	ロックされていないと真空になりません。 ロックしてください。
		真空パッキン・真空パッキン受け部の汚れはありませんか？	汚れているときはふき掃除をしてください。➔P.21
		真空パッキンや真空解除弁（青色）がはずれたり、緩んでいませんか？ 	真空パッキンを取り付けてください。➔P.21 真空解除弁をハンドルの穴にしっかりと取り付けてください。
		真空パッキン・真空パッキン受け部に食品の包装などがはさまったり、汚れや糸くず、ごみが付着していたりしていませんか？ 	食品の包装などがはさまったときは、取り除いてください。 汚れた真空パッキンはお手入れしてください。➔P.21
		真空チルドルームや冷蔵室ドアの開閉直後ではありませんか？	真空ポンプが動作をはじめる準備状態となるため“シュー”と音がしないことがありますが、故障ではありません。
	真空になっているかわからない	開けるときに“シュー”と真空解除音がすれば、正常です。	–
	ハンドルのロックができない	真空パッキン部や真空チルドケースの奥に食品などがはさまっていませんか？	はさまっているときは、取り除いてください。
		真空チルドケースがきちんと取り付いていますか？	真空チルドケースを手順にしたがい取り付けてください。➔P.24
	真空チルドルームの周りからの“ブーン”という音と振動がする	真空にするためのポンプの動作する音です。	異常ではありません。
		夜間など音が気になるときは、真空ポンプの動作を停止することができます。	真空チルドルームの設定をランプ消灯に変更してください。➔P.13（通常の「チルド」になります）
		音や振動がひんぱんにあるときは、ドアに物がはさまっているか真空パッキンが汚れている場合があります。	食品の包装などがはさまっているときは、取り除いてください。汚れた真空パッキンはお手入れしてください。➔P.21
	真空チルドルームの内部やドア周辺に水滴や霜がつく	真空チルドルームは密閉しているために、食品や空気中にふくまれる水分により、ルーム内に露や霜がついたりします。	水分の多い食品はラップしていただくことをおすすめします。水滴や霜が付いた場合はやわらかい布にぬるま湯をふくませてふき取ってください。
	真空チルドルームの食品が凍る	ナスやキュウリなど低温に弱い野菜を収納していませんか？	野菜室に移動してください。➔P.13
冷蔵庫が熱くなる	冷蔵庫の側面が熱くなる 足元から暖かい風が出る	冷却装置が運転するときに発生する熱を外に逃がすために熱くなることがあります。	設置直後や夏場は50～60℃になることもあります。安全および性能上問題はありませんが、手をふれないでください。
においが気になる	プラスチックのにおいがする	庫内にプラスチック部品を多く使用しているためですが、十分に冷えるにしたがってにおいは徐々に少なくなります。	異常ではありません。
	氷がにおう	給水タンク、浄水フィルターが汚れたり、氷が古くなっていませんか？	「ぬめり」「水アカ」防止のため、定期的に水洗いしてください。➔P.23
		水道水中の塩素分が凝縮されるため、塩素が強くにおうことがあります。	異常ではありません。
	庫内がにおう	においの強い食品をそのまま収納していませんか？	脱臭機能は全てのにおいを完全に取り除くことはできません。 ラップをかけるなど密封して収納してください。

こんなときは		ここを確認してください	直しかた
音が気になる	冷蔵庫から聞こえる音がうるさい	床がたわんでいませんか？	丈夫な板を敷いてからその上に設置してください。➔P.8
		冷蔵庫が壁や家具などに当たっていませんか？	冷蔵庫の周りにすき間をあけて設置してください。
		ご購入後、使いはじめなど冷蔵庫が冷えていないときや、ドアの開け閉めが多いとき、周囲の温度が高いときはコンプレッサーが高速運転をするため、音が大きく感じることがあります。	十分に冷えれば音は小さくなります。
		設定が「急速冷凍」になっているときは、コンプレッサーやファンモーターが高速運転をするため、音が大きくなります。	異常ではありません。
	運転音が長い	コンプレッサーをゆっくり運転させて、省エネ運転をしているためです。	異常ではありません。
	ときどき音が大きくなる	庫内の温度変化に合わせて運転する力を変更しているためです。	異常ではありません。
	その他このような音が聞こえたときは	水の流れるような音（チョロチョロ） 衝突するような音（コツコツ） 沸騰するような音（ボコボコ） 肉を焼くような音（ジュー）	冷蔵庫を冷やすための冷媒が流れる音、霜取りの際に水が流れる音、蒸発する音です。 異常ではありません。
		きしむような音（ピシッ） （コトン）	冷蔵庫の温度が変化するときや、真空チルドルームの気圧が変化するとき部品がきしむ音です。 異常ではありません。
		何か引っかかるような音（コトコト） うなるような音（プー） 扉を閉めた直後の音（ブーン） 野菜室ドアを開けているときの音（ブーン）	庫内の温度を制御する電気部品や真空ポンプが動作する音です。 異常ではありません。
		自動製氷機の音 （ギュイーン） （ガラガラ） （ゴボゴボ）	自動製氷機の製氷皿から氷が離れるときや製氷皿に水を入れるときの音です。給水タンクが空のときも2～3時間ごとに音がします。 異常ではありません。「製氷停止」にすると、音がでなくなります。➔P.17
		ときどきする音（カタカタ）	庫内を冷やすための運転をはじめるときの音です。 異常ではありません。
その他	プラスチック部品に傷のような細い線がある	プラスチックを成形する際に発生する樹脂の流れの跡です。	透明な部品について特に目立ちやすくなっていますが、強度上の問題はなく割れに至ることはありません。
	扉面や側面・天面に波打ちや歪みがある	冷蔵庫の製造工程上、波打ちや歪みが生じます。	光源の位置や明るさなどによっては目立つことがありますが、性能上は問題ありません。
	ドア内側に小さな穴が開いている	この穴は冷蔵庫の製造工程にて断熱材を充填する際に内部の空気を逃がすための穴です。	傷や異常ではありません。
	停電した	復旧するまでの間はドアの開閉を減らし、新たな食品の収納はさけてください。	停電復帰した後は、操作部の設定をご確認ください。
	長期間使わない	庫内のものを全て出し、電源プラグを抜いて庫内や自動製氷機のお手入れをしてください。	2～3日間全てのドアを開けて乾燥させてください。➔P.20～25
	霜取りをする	この冷蔵庫は自動で霜取りをしますので、操作は必要ありません。	解けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。
	移動・運搬をする		「移動・運搬の準備（引っ越しをする）」をご覧ください。➔P.9

仕様

型式		R-S3700EV・R-S3700EVL	R-K370EV・R-K370EVL
種類		冷凍冷蔵庫	
定格内容積	全体	365L	365L
	冷蔵室	220L	220L
	野菜室	72L〈43L〉	72L〈43L〉
	冷凍室	73L〈46L〉	73L〈46L〉
外形寸法	幅	590mm	590mm
	奥行	640mm	640mm
	高さ	1,810mm	1,810mm
定格電圧		100V	
定格周波数		50/60Hz 共用	
電動機の定格消費電力		75W	75W
電熱装置の定格消費電力		150W	150W
年間消費電力量		冷蔵室ドア内側の品質表示ラベルに表示してあります。	
質量		75kg	71kg

●「定格内容積」は、日本工業規格（JIS C9801）に基づき、庫内部品のうち冷やす機能に影響がなく、工具無しにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。「定格内容積」には、「食品収納スペース」と「冷気循環スペース」をふくみます。
●〈　〉内は、「食品収納スペースの目安」です。引き出し式貯蔵室（野菜室，冷凍室）の場合、「定格内容積」と併せ「食品収納スペースの目安」を表示しています。
●この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。またアフターサービスもできません。

消費電力量

■年間消費電力量は、JIS C 9801（2006年版）で決められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。
■使用時の消費電力量は、設置の仕方、各庫内の温度設定、周囲温度や湿度、ドア開閉頻度、新しく入れる食品の量や温度、使い方等により変動する場合があります。

	JIS C 9801（2006年版）消費電力量測定方法			
種類	冷凍冷蔵庫		冷蔵庫	冷凍庫
	「スリースター」「フォースター」機種			
庫内温度	冷凍室	冷蔵室	冷蔵室	冷凍室
	−18℃以下	4℃以下	4℃以下	−18℃以下
ドア開閉回数	8回／日	35回／日	35回／日	8回／日
周囲温度	30℃及び15℃			
周囲湿度	30℃測定時：70±5%　15℃測定時：55±5%			
消費電力量の表示	JIS年間消費電力量（kWh／年）（周囲温度30℃測定による1日当りの消費電力量180日分と周囲温度15℃測定による1日当りの消費電力量185日分の合計）			

冷凍室の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は ☆☆☆（フォースター）です。冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C9607）に定められた方法で試験したときの、冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。

■ JISの試験方法は次の通りです。

●冷蔵室の温度が0℃以下とならない範囲で、最も低い温度になるよう温度調節をして、試験を行います。
●冷蔵庫の設置場所の温度は、15～30℃の範囲を基準としています。
●冷凍室定格内容積100L当り4.5kg以上の食品を24時間以内で−18℃以下に凍結できる性能の冷凍室を、フォースター室としています。

記号	☆☆☆ フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	−18℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3カ月

■ 市販冷凍食品の貯蔵期間

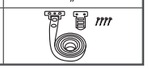
冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。

収納できる食品の重さ

	部　品　名	R-S3700EV・R-S3700EVL	R-K370EV・R-K370EVL
冷蔵室	高さかわるん棚	13.0kg	13.0kg
	うすいん棚	13.0kg	13.0kg
	たためるん棚	10.0kg	10.0kg
	真空チルドルーム上の棚	13.0kg	13.0kg
	真空チルドケース	2.5kg	2.5kg
冷凍室	スライドケース	4.5kg	4.5kg
	下段ケース	11.0kg	11.0kg
野菜室	スライド小物ケース	4.0kg	4.0kg
	野菜ケース	12.0kg	12.0kg

別売部品

■次の部品を購入する場合は、必ず販売店にお使いの冷蔵庫の型式をご指定のうえ、専用の部品をお買い求めになってください。

こんなときに	商品名	商品型式	
氷がにおうとき ●浄水フィルターが古く汚れている恐れがあります。（使用期間の目安は約3～4年です）	自動製氷用浄水フィルター	RJK-30 希望小売価格 1,500円（税別）	
真空状態が保てないとき ●破損・変形・変色している恐れがあります。	真空パッキン	R-S37CMV 321 希望小売価格 1,400円（税別）	
万一の感電防止のために	アース線（長さ 2.5m）	NW-60R6 052 希望小売価格 300円（税別）	
地震に備えて	冷蔵庫用地震転倒防止ベルト ※2セット必要となります。	R-826CV 300 希望小売価格 870円（税別）	

※上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。
（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
（ハ）火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
（ニ）一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。
なお、食品の補償等、商品修理以外の責はご容赦ください。

保証期間：お買い上げの日から1年間です。（ただし、冷凍サイクル・庫内冷却器用ファンおよびファンモーターは、5年間です。）
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは（出張修理）

26～29ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

品名	日立冷凍冷蔵庫
型式	R-S3700EV・R-S3700EVL R-K370EV・R-K370EVL （冷蔵室ドア内側の銘板に記載されている型式をお知らせください。）
お買い上げ日	
故障の状況	できるだけ詳しく
ご住所	付近の目印等もお知らせください。
お名前	
電話番号	（　　）　　−
訪問希望日	

※型式は保証書にも記載されています。

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料 などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。